

NO 3	八千代銀行本店建替え工事	株式会社 八千代銀行
------	--------------	------------

提案概要
 地域住民や中小規模事業者と密接にかかわりを持つ地域銀行として、本店建替えの機会を「環境配慮型オフィスへの革新」と捉え、省CO2モデルを実現する。併せて地域住民や中小規模事業者に対して省CO2意識の積極的な働き掛けを行い、行政の環境施策の推進に貢献するとともに、支店の建替え時にも省CO2施策を積極的に取り組む。

事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)
	建物名称	八千代銀行本店	所在地	東京都新宿区
	用途	事務所	延床面積	7,594 m ²
	コンサルタント	住友信託銀行(株)	設計者	(株)石本建築事務所
	施工者	清水建設(株)		
	事業期間	平成21年度～平成 22年度		

概評
 地域銀行本店の建替えであり、中規模なオフィスビルにガラスダブルスキン等による外皮負荷の削減、太陽光発電やナイトパーズ等の自然エネルギー利用、BEMS、LED等高効率照明など、多様な省CO2技術を導入している。導入技術に先導性があるとは言えないが、地域銀行としての強みを活かした環境コミュニケーションサイクルの実現を目指しており、本店ロビーでの省CO2技術に関する情報発信やエコファンド等金融商品提供などに取り組んでいる点が評価できる。

参考図

屋上緑化-①
屋根面の一部は屋上緑化を行い、直射負荷を低減します。

自然通風・ナイトパーズ-③
粉塵除去フィルターを設置した給気部と、南東角部に設けたガラス張りの排気ボイドの浮力効果により、都心部の中高層建物に相応しい自然換気システムを導入します。

CO₂センサーによる導入外気の制御-③
ダクト内に設置したセンサーにより外気導入を制御し、外気温度負荷と搬送動力を低減します。

BEMS導入
施設全体のエネルギー消費を時刻別モニタリング管理するエネルギーマネジメントシステムを構築します。

雨水の中水利用
屋根から集水した雨水を貯留し、便所洗浄水に有効利用します。

太陽光発電システム
屋上に10kW相当の太陽光発電パネルを設置します。

ガラスダブルスキン(エアフロー方式)-①②
Low-eガラスと電動調光ブラインドを使用したガラスダブルスキンで外皮負荷を削減し、開放性と遮音性を確保します。

高効率照明器具・星光センサーの採用

節水型衛生器具の導入

エコ素材の採用

地下集中型制震構造
地下部分に制震装置を集中的に配置するソフトファーストストーリー制震構造を採用し、地下スペースの効率化と建物の長寿命化を図ります。

既存地下躯体の再利用
既存建物の基礎部分の躯体を新築掘削工事の山留めとして再利用することにより、解体時のCO₂発生量を削減します。

銀行本店ロビー
地域利用者: 地域住民、中小規模事業者

様々な一般の人々が来訪

エコインフォメーションの活用と環境技術の体感の場を提供

- 太陽光による発電量の表示
- 雨水の中水利用の表示
- 人感センサーの体感
- エコ器具、環境材料使用の表示
- LED照明使用の表示

本店事例をモデルとした支店の建替え

- 支店建替え時の省CO₂施策の積極的な取組み
- 支店のロビーでも本店同様の施策を推進

波及・普及効果

地域利用者への省CO₂意識の啓蒙・環境技術の導入促進

- 環境技術の導入を住宅ローンにおけるエコ優遇の実施、「東京緑の定期預金」「エコファンド」といった金融商品の提供や、社会科見学・館内エコツアーの企画を通じて、更なる波及・普及効果の拡大を図ります。

環境負荷低減に向けた企業単位での省CO₂意識の啓蒙・促進

- 中規模事務所オーナー、取引先等への本プロジェクト紹介。
- 密集都心部における中規模事務所のモデルプロジェクトとしてメディアへの発信。